

ふれあい ゲーム

紙飛行機で交流

10月27日、お年寄りとの交流を深めようと妹背牛中学校3年生20名が「りふれ」を訪れました。

「みんな大きいね」と入所しているお年寄



ちは生徒の身長の高さに驚いていました。いつも行っている体操をしてから、椅子に座りテニスボールを蹴って得点を競う

ゲームや、紙飛行機作りにも挑戦しました。ゲームや作業、おしゃべりなど中学生との楽しい時間を過ごしました。

また、中学生から歌声のプレゼントもあり、「故郷」の歌を共に歌いました。惜しめない拍手が送られ、帰り際には中学生の手を取って「ありがとう、また来てね」と名残惜しそうな様子を見せていました。

心も体も健康に！



10月29日、町総合体育館において「第36回妹背牛町福祉レクリエーション大会」（町社会福祉協議会主催）が開催されました。老人クラブ、福祉関係者、地域おこし協力隊や町内の子どもたちなど総勢約80名が参加しました。準備体操をしっかりと行い、ゲーム開始となりました。最初のゲームは、子どもとお年寄りがペアになり、穴の空いた新聞紙からボールを落とさず運ぶゲーム。慎重にゴールを目指します。楽しいゲームですっかり緊張がほぐれた様子で、子どもたちもお年寄りも大いに盛り上がり、楽しそうな笑い声が体育館に響き渡っていました。

文字を書いてリラックス

11月8日、保健センターにおいて「わたしへのごほうび講座」（全2回）が開催されました。仕事や家事、子育てなど忙しい毎日を送っている女性を対象にした講座で、参加者は30～60代の17名。この日はミニ講話、リラックス体操、ペン習字講座が行われました。

ペン習字の講座には、町内で書道教室を開いている松田洋子さんを講師に「集中して文字を書くことにより、心が穏やかになる」というお話や、文字を美しくするためには「鉛筆の持ち方や、姿勢が大切」との説明を受け参加者たちは、お手本の文字を一生懸命になぞっていました。松田さんの分かりやすく、楽しい説明で



教室は笑い声が絶えず、和やかな時間が過ぎていきました。

妹背牛DIY工房

親子で物づくりに挑戦し、コミュニケーションを深めてもらおうと10月30日、妹背牛中学校において小学生の親子を対象とした「妹背牛DIY工房」(町教育委員会主催)が開催されました。講師には妹背牛町技能協会(真鍋剛会長)の方々を迎え、「カホン」と

いう打楽器の作成をしました。初めて使う工具がほとんどで、木材の寸法を測る



のも一苦労。ネジを止める際に使う機械の音に驚く子どもも見受けられました。いろいろな道具を使い、四苦八苦しながらようやく完成。演奏会も開かれて、親子で一緒に作りあげた「カホン」は、打ち鳴らす度に優しい音色を奏でていました。

祝金婚式



11月1日、妹背牛温泉ペペルにおいて「平成28年度 妹背牛町金婚を祝う会」(町社会福祉協議会)が催されました。対象者は昭和41年にご結婚された8組のご夫婦。寺崎町長からは「喜びや悲しみを分かち合いながら本日を迎えられることに敬意を表し、これからも幸多かれとご祈念いたします」とお祝いの言葉が贈られました。味わい深い詩吟も披露され、石原敏之老人クラブ連合会長の乾杯で宴がスタート。白百合琴の会の大正琴の演奏をはじめ、食事やゲームを楽しみながら、ご夫婦の歴史を振り返っていました。

火災予防呼びかけパレード!

「消しましょう その火その時 その場所で」をスローガンに、全道一斉に秋の火災予防運動が平成28年10月15日～10月31日まで実施されました。これから暖房機器の使用等により火災が発生しやすい季節となつて



くるため、地域住民の火災予防の意識を高めようと本町においても期間中の10月17日に火災防止しを呼びかける防火パレードが行われました。消防車両と町内業者のタンクローリー車7台で市街地と農家地区を巡回しながら火災予防を呼びかけました。午後からは地域住民宅を訪問し、火防査察が行われました。

美しい歌声で交流

11月1日、妹背牛小学校体育館において小・中学生による「小・中合同合唱交流・仲間づくり・いじめ根絶集会」が行われました。

小学校1・2年生のかわいらしい歌声からスタート。小学生3曲、中学生3曲と日頃の練習の成果をしっかりと披露しました。交流会の終わりには小・中学生全員の力強い合唱で体育館中に素晴らしい歌声が響き渡りました。小学生代表の川上夏実さんは、「中学生と毎年交流できるのは嬉しい。これからもずっと続いてほしい」。

また、中学生代表の菊入夏実さんは、「毎年みんなで合唱できるのはうれしい。来年6年生が入学し、一緒に歌えるのが楽しみ」とそれぞれ感想を発表しました。

